

いちき串木野

市議会だより

新春号

平成21年1月5日
第17号

発行：いちき串木野市議会

謹賀新年

2009年(丑年)



(議席順)
上段左より

宇都隆雄	中村敏彦	東田育代	濱田尚人	中里純信	枇榔秋美	大六野一治	西別府四夫	楮山弘人	石野勉	竹之内俊行	木場政敏	原口良信	下迫田逸郎	吉尾和男	寺師善一	丸山慶克	上夷慶平	宇都耕宏	福田清宏	東田勝巳	松下育郎
------	------	------	------	------	------	-------	-------	------	-----	-------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------



一丸となって前進

～重み増す議会の役割～

いちき串木野市議会議長
松下育郎

明けましておめでとうございます。

希望に満ちた平成21年の新春を、家族お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中、市民の皆様方には市政各面にわたるご理解とご協力を賜り、併せて私ども市議会に対しましても格段のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

(議員定数問題)

さて、いちき串木野市がスタートしてから3年余、私ども市議会議員も今年11月には任期満了を迎えます。議員定数については、これまで市内各種団体との意見交換等も行いながら検討してきました。厳しい財政状況等を踏まえるとともに、確実に重みを増す議会の役割を認識する中で、現行定数から2人削減し、次回選挙から20人にすることに決定しました。

(エネルギーセンター問題)

昨年11月、市来一般廃棄物利用エネルギーセンターに関する会計検査院の検査結果が示されました。「補助金全額(3億円余)が不当」との厳しい判断で、7億円余に上る補助金、起債(借入金)の返還が求められると、市の財政運営は一段と厳しさを増すこととなります。

市議会としては、早くからエネルギーセンターに関する特別委員会を設け、調査を進めてきました。施設の改善見通しが立たないことに加え、多額の維持管理費用等の問題を指摘し、一昨年10月の時点で市長に「早急に判断すべき」と提言しました。さら

に昨年6月にも重ねて早急な決断と財政計画等の対応を強く迫りました。補助金返還等によって本市の財政はどうなるのか、損害賠償裁判の行方や今後の施設の取扱い等々、その解決までには多くの課題が山積しています。

(議会の役割)

「あれもこれも」の時代はとうに過ぎ、「あれかこれか」の厳しい選択が求められる時代になっています。旧串木野市、旧市来町時代38名いた議員は、合併により22名になり、次回から20名となります。議員数が少なくなる中、地方分権の流れと相まって議会に求められる役割はますます大きく、かつ複雑になってきています。

議会の役割は、市の行政運営をチェックし、必要な政策を提言することにあります。「最少経費で最大効果を挙げているか」「市の最優先課題は何か」「今進めている行政運営がベストか」、こうした視点での厳しい批判監視、活発な議論が求められます。

昨年県内で初めて実施した「議会報告会」を引き続き開催するなど、市政を分かりやすく説明し、市民の理解と参加を求めながら、市民に信頼される議会づくりへ渾身の努力を傾注してまいりたいと思います。

2009年の年頭に当たり、市民の皆様方のご健勝ご多幸をお祈りし、本年も変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、新年のあいさついたします。

議員は公職選挙法により、選挙区内における年賀状等のあいさつ状は禁止されています。

(ただし、答礼のための自筆によるものは除きます。)

市民の皆様のご理解をお願いいたします。